

食育の推進に関するアンケート調査結果

保健医療課

1 調査目的

県では、すべての県民の皆さんが心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと豊かに暮らすことができるよう「食育」の推進に取り組んでいます。そこで、県民の皆さんの食に関する意識や現状を把握し、第2次岐阜県食育推進基本計画(計画期間:平成24年度～28年度)の評価と第3次計画策定の参考とさせていただくため、調査を実施しました。

2 調査対象など

調査対象:県政モニター679人(うちインターネットモニター389人)

調査方法:郵送及びインターネット

調査期間:平成28年6月17日から7月8日

回収結果:646人(回答率95.1%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○ 食行動

- ・「週4～5日以上家族と一緒に食事をする」は、朝食62.5%、夕食74.8%となった。
- ・「地域の人や職場の人などと一緒に食事をする食事会等の機会があれば、参加したいと思うか」については、「とてもそう思う」、「そう思う」をあわせると57.7%であった。また、そのうち、過去1年間に、地域や職場の人などとの食事会等に参加した人は、78.6%であった。
- ・「郷土料理や伝統料理など、地域や家庭に伝わる料理や味、箸づかいなど食べ方・作法について受け継いでいるか、また地域や次世代に伝えているか」については、「受け継いでいるし、伝えている」が42.6%、「受け継いでいるが、伝えていない」は27.6%であった。

○ 食育の関心度

- ・食育について、「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」をあわせると、87.0%であった。

○ 食生活に関する意識

- ・今後の食生活で力を入れたいことについては、「栄養バランスのとれた食事の実践」が82.4%と最も高く、次いで「食品の安全性への理解」が64.4%、「おいしさや楽しさなど食の豊かさ」が58.2%であった。

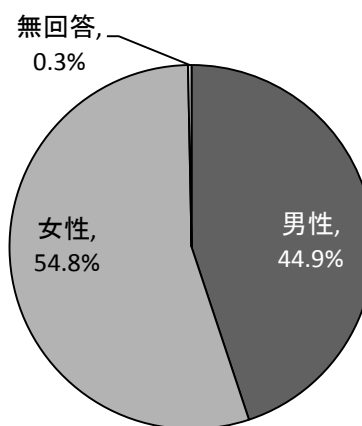
○ 食の循環や環境

- ・「食品ロスを軽減するために取り組んでいることはあるか」については、「冷凍保存を活用する」が62.5%と最も高く、次いで「賞味期限を過ぎても、自分で食べられるか判断する」が61.3%、「残さず食べる」が59.8%であった。

4 回答者属性

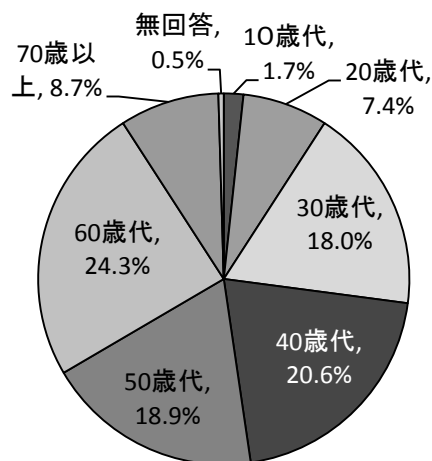
(1) 性別

	人数	割合
男性	290	44.9%
女性	354	54.8%
無回答	2	0.3%
計	646	100.0%



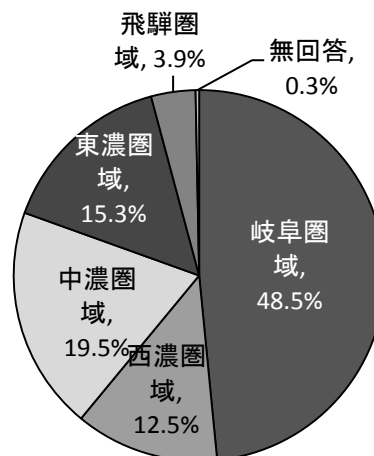
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	11	1.7%
20歳代	48	7.4%
30歳代	116	18.0%
40歳代	133	20.6%
50歳代	122	18.9%
60歳代	157	24.3%
70歳以上	56	8.7%
無回答	3	0.5%
計	646	100.0%



(3) 居住圏域別

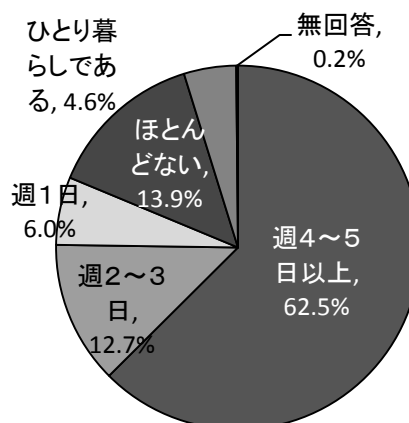
	人数	割合
岐阜圏域	313	48.5%
西濃圏域	81	12.5%
中濃圏域	126	19.5%
東濃圏域	99	15.3%
飛騨圏域	25	3.9%
無回答	2	0.3%
計	646	100.0%



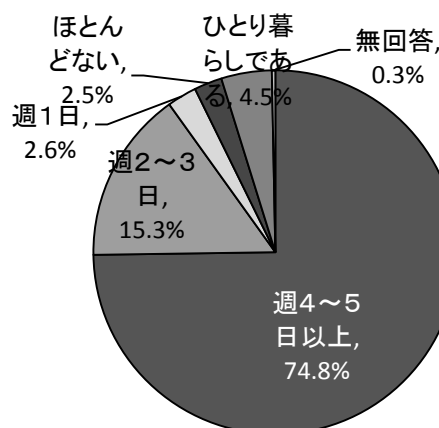
5 調査結果

問1 あなたは、ふだん家族と一緒に食事をするのがどれくらいありますか。

(朝食)	人数	割合
週4～5日以上	404	62.5%
週2～3日	82	12.7%
週1日	39	6.0%
ほとんどない	90	13.9%
ひとり暮らしである	30	4.6%
無回答	1	0.2%
計	646	100.0%

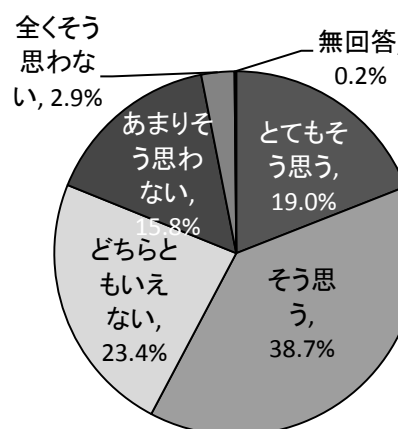


(夕食)	人数	割合
週4～5日以上	483	74.8%
週2～3日	99	15.3%
週1日	17	2.6%
ほとんどない	16	2.5%
ひとり暮らしである	29	4.5%
無回答	2	0.3%
計	646	100.0%



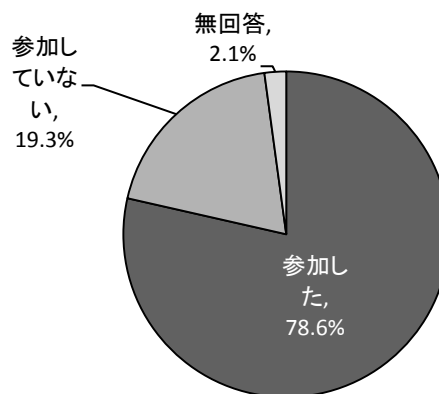
問2 近年では、ひとり親世帯や高齢者の一人暮らしなど家族の状況が様々であり、家族と一緒に食事をするのが難しい場合もあります。あなたは、地域の人や職場の人などと、一緒に食事をする食事会等の機会があれば、参加したいと思いますか。

	回答数	割合
とてもそう思う	123	19.0%
そう思う	250	38.7%
どちらともいえない	151	23.4%
あまりそう思わない	102	15.8%
全くそう思わない	19	2.9%
無回答	1	0.2%
計	646	100.0%



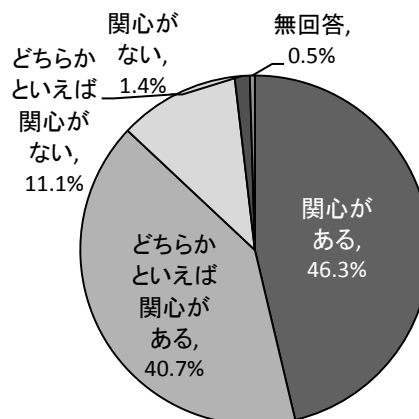
問3 (問2で1~2と答えた方) あなたは、過去1年間に、地域の人や職場の人などの食事会等に参加しましたか。 回答者 373人

	人数	割合
参加した	293	78.6%
参加していない	72	19.3%
無回答	8	2.1%
計	373	100.0%



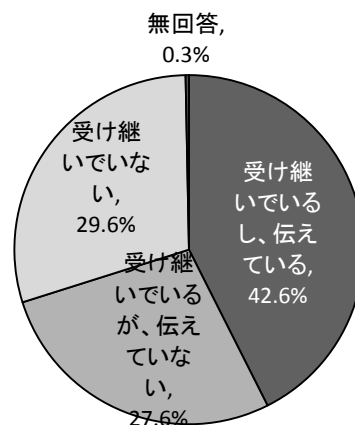
問4 あなたは、「食育」に関心がありますか。

	人数	割合
関心がある	299	46.3%
どちらかといえば関心がある	263	40.7%
どちらかといえば関心がない	72	11.1%
関心がない	9	1.4%
無回答	3	0.5%
計	646	100.0%



問5 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭に伝わる料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法について受け継いでいますか。また、地域や次世代(子どもやお孫さんを含む)に伝えていますか。

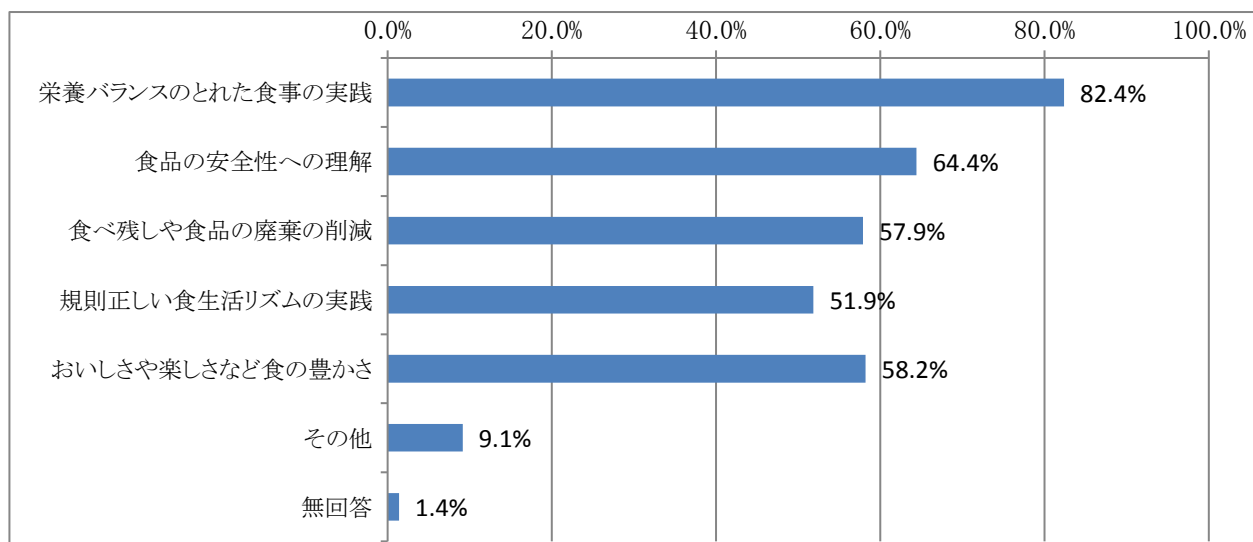
	人数	割合
受け継いでいるし、伝えている	275	42.6%
受け継いでいるが、伝えていない	178	27.6%
受け継いでいない	191	29.6%
無回答	2	0.3%
計	646	100.0%



問6 あなたは今後の食生活で、特にどのような面に力を入れたいと思いますか。
次の中からあてはまるものをすべてあげてください。（複数回答）

回答者 646 人

	回答数	割合
栄養バランスのとれた食事の実践	532	82.4%
食品の安全性への理解	416	64.4%
食べ残しや食品の廃棄の削減	374	57.9%
規則正しい食生活リズムの実践	335	51.9%
おいしさや楽しさなど食の豊かさ	376	58.2%
その他	59	9.1%
無回答	9	1.4%
計	2,101	-

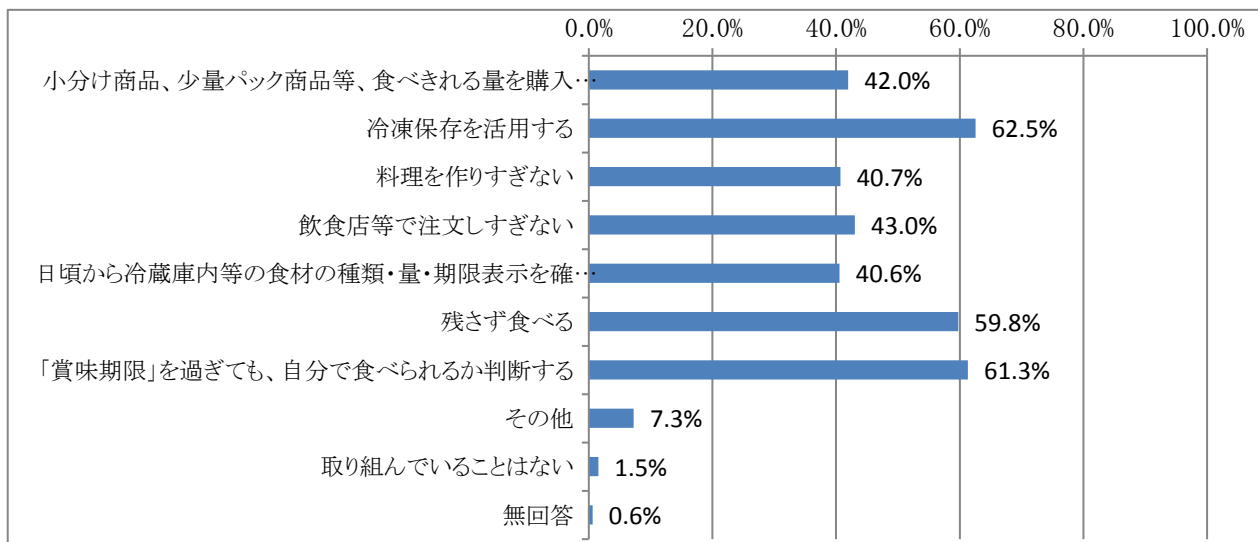


- ※その他のうち主なもの
- ・郷土料理や伝統料理
 - ・地産地消
 - ・減塩料理

問7 あなたは「食品ロス」を軽減するために取り組んでいることはありますか。
あてはまるものをすべてあげてください。

回答者 646 人

	回答数	割合
小分け商品、少量パック商品等、食べきれる量を購入する	271	42.0%
冷凍保存を活用する	404	62.5%
料理を作りすぎない	263	40.7%
飲食店等で注文しすぎない	278	43.0%
日頃から冷蔵庫内等の食材の種類・量・期限表示を確認する	262	40.6%
残さず食べる	386	59.8%
「賞味期限」を過ぎても、自分で食べられるか判断する	396	61.3%
その他	47	7.3%
取り組んでいることはない	10	1.5%
無回答	4	0.6%
計	2,321	-



※その他のうち主なもの

- ・もったいないという感謝の気持ちを持つ。
- ・購入したものを飽きずに食べきる様にレシピを増やす。

問8 その他、食生活に関してのご意見や県へのご要望などがありましたらお聞かせください。（主な意見）

- 食品のロスについて
 - ・食品ロスで出た食品が貧困家庭に届けられるなどのシステムができると良い。
 - ・核家族などの少人数家族が増加しているため、商品の少量パック、小分け等がもっと増えるとよい。
 - ・子どもたちに「もったいない」を教え、食べることの大切さ、ありがたみを教えるとよい。
- 食品の安全について
 - ・食品の安全性などについては講座やセミナーをたくさんやってほしい。
 - ・添加物や農薬に対する知識を周知してほしい。
- 郷土食について
 - ・家族みんなで参加し、郷土料理や地域の伝統料理を作ったり、味わったりできるような企画があるとよい。
 - ・県内の郷土料理をもっとPRしてほしい。県内の産業(陶器や和紙など)と組み合わせるなど、総合的に岐阜県の食をPRできるとよい。
- 地産地消について
 - ・県の特産品を使ったレシピに力を入れてほしい。
 - ・地産地消を一層推進してほしい。岐阜県の特産果物・野菜等のPRを推進してほしい。
 - ・岐阜県産の食材が購入できるお店やサイトを公表してほしい。
- 今後の食育推進について
 - ・子ども達の食育だけでなく、高齢者の食育も必要。
 - ・子どもや高齢者などライフステージに応じた、バランスの良い時短料理を配信してもらえるとよい。
 - ・「食育」は外食業界や流通業界を巻き込んだ取組みが大切。
 - ・県民のデータをもとに塩分を減らす工夫など健康向上の取組みをしてほしい。
 - ・食育を学ぶ料理教室を開催してほしい。